

日本心理学会第83回大会 公募シンポジウム

宗教心理学的研究の展開(16)

— 宗教と生命倫理 —

「臓器移植コーディネーターの立場から」

石井 賀洋子

(元 愛知県臓器移植コーディネーター)

2019.9.13(金)

臓器移植とは

重い病気や事故などにより臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器と取り替えて機能を回復させる医療

臓器移植の歴史

1963年 世界初の肝臓移植、肺移植

1967年 世界初の心臓移植

1968年 日本初の心臓移植

日本初の札幌医大・和田心臓移植は、
脳死判定、移植患者選定などが社会の強い不信感を生んだ

1980年 角膜・腎臓移植法 施行

1997年 臓器移植法 施行

日本で脳死臓器提供が可能となる

2010年 改正臓器移植法 施行

臓器移植法

臓器移植法

1997年10月16日施行

心停止

家族の承諾

脳死

本人の書面による
意思表示と家族の承諾



改正臓器移植法

2010年7月17日全面施行

本人の
書面による
意思表示

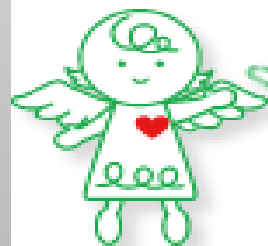
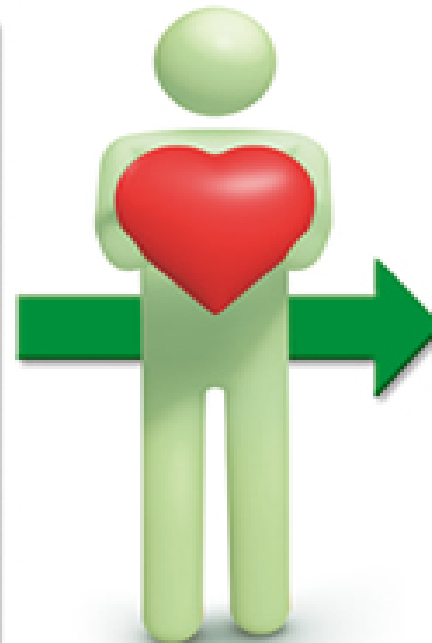


本人の
意思不明
(拒否の意思が
ない場合)



家族の承諾

2010年1月17日一部施行
臓器を提供する意思表示に併せて
親族優先提供の意思表示が可能



1997年に施行された臓器移植法は、脳死後の臓器提供には、本人の書面での意思表示を必須とするなど厳しい制限のある法律でした。その後、2010年に改正臓器移植法が施行され、本人の意思が不明な場合は、家族の承諾で臓器の提供が可能となり15歳未満の脳死臓器提供も可能になりました。

臓器提供の種類

健康な方からの臓器提供(生体移植)

脳死下での臓器提供

心臓が停止した後の臓器提供

脳死後に提供できる臓器

心臓・肺・肝臓

腎臓・脾臓

小腸・眼球

心臓が停止した死後に 提供できる臓器

腎臓

脾臓

眼球

《 1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。》

STEP 1 → 1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。

2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。

3. 私は、臓器を提供しません。


STEP 2 → 《 1 又は 2 を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》
 【 心臓 ・ 肺 ・ 肝臓 ・ 腎臓 ・ 膵臓 ・ 小腸 ・ 眼球 】

STEP 3 → (特記欄： _____)

STEP 4 → 署名年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人署名(自筆)： _____

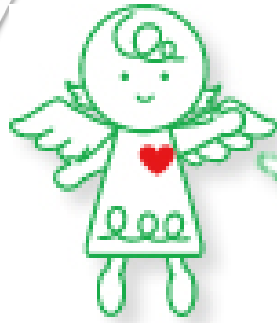
家族署名(自筆)： _____



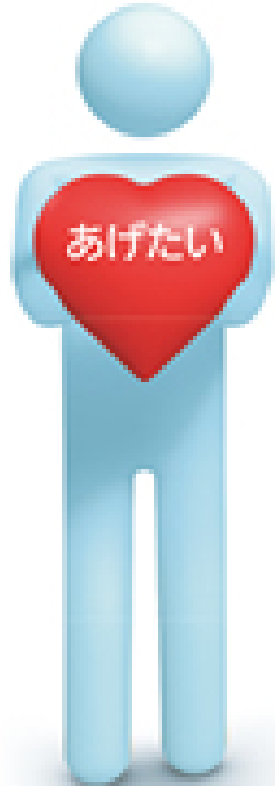
a) 1か2に○をした方で、皮膚、心臓弁、血管、骨などの組織も提供してもいい方は、「すべて」あるいは「皮膚」「心臓弁」「血管」「骨」などと記入できます。

b) 親族優先提供の意思を表示したい方は、次をお読みいただいた上で、「親族優先」と記入できます。

提供と移植に関する権利



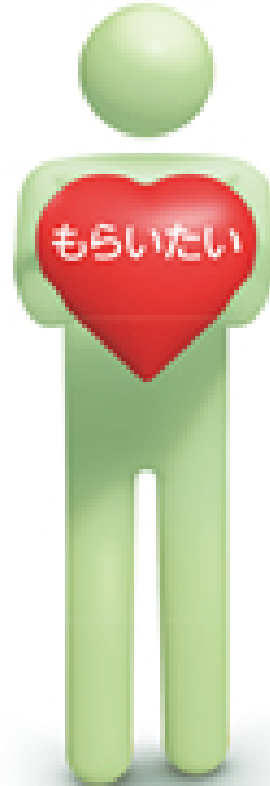
臓器提供と移植に関しては、4つの権利があります。
どの権利も自分で選択することができ、尊重されます。



提供する権利



提供しない権利



受ける権利

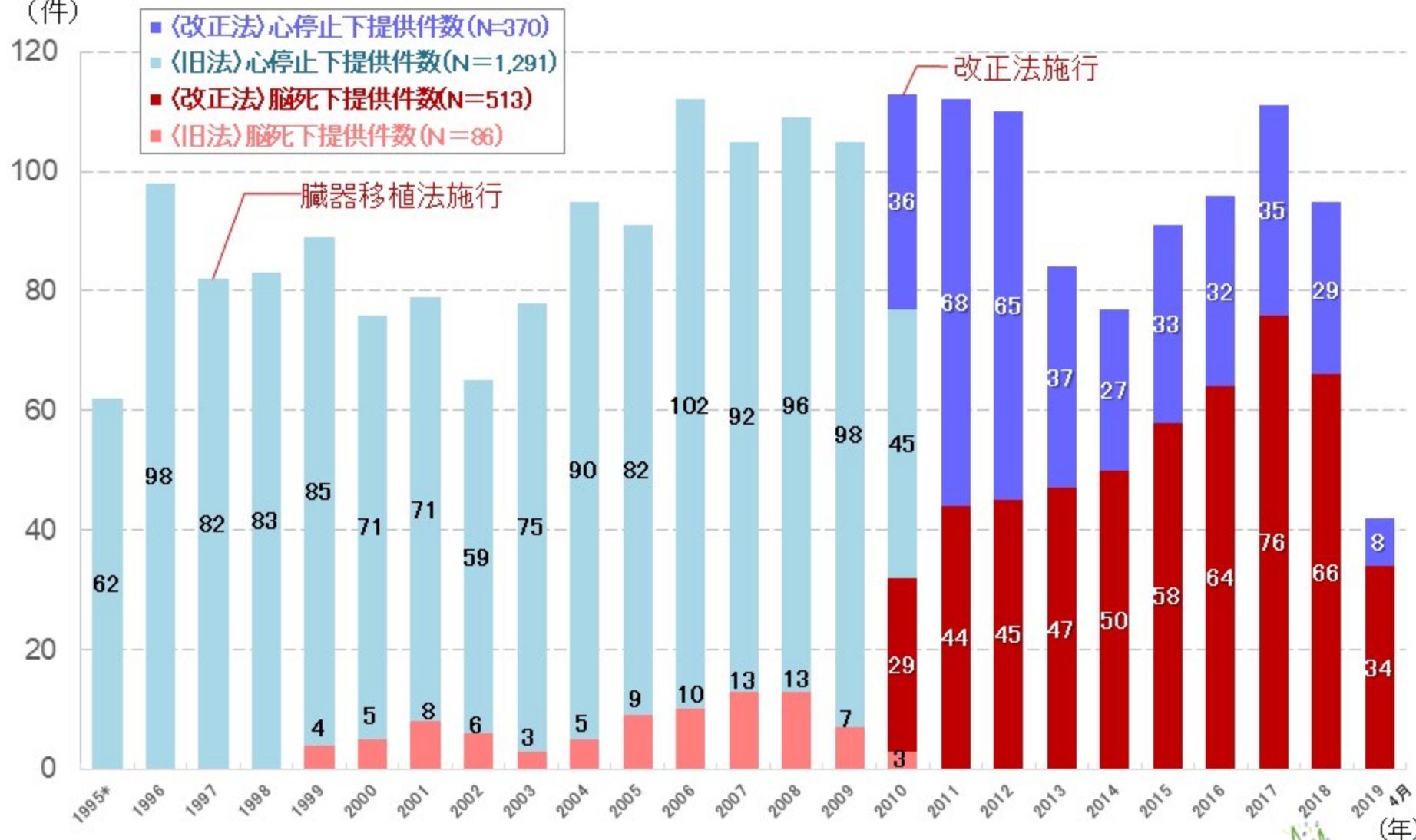


受けない権利

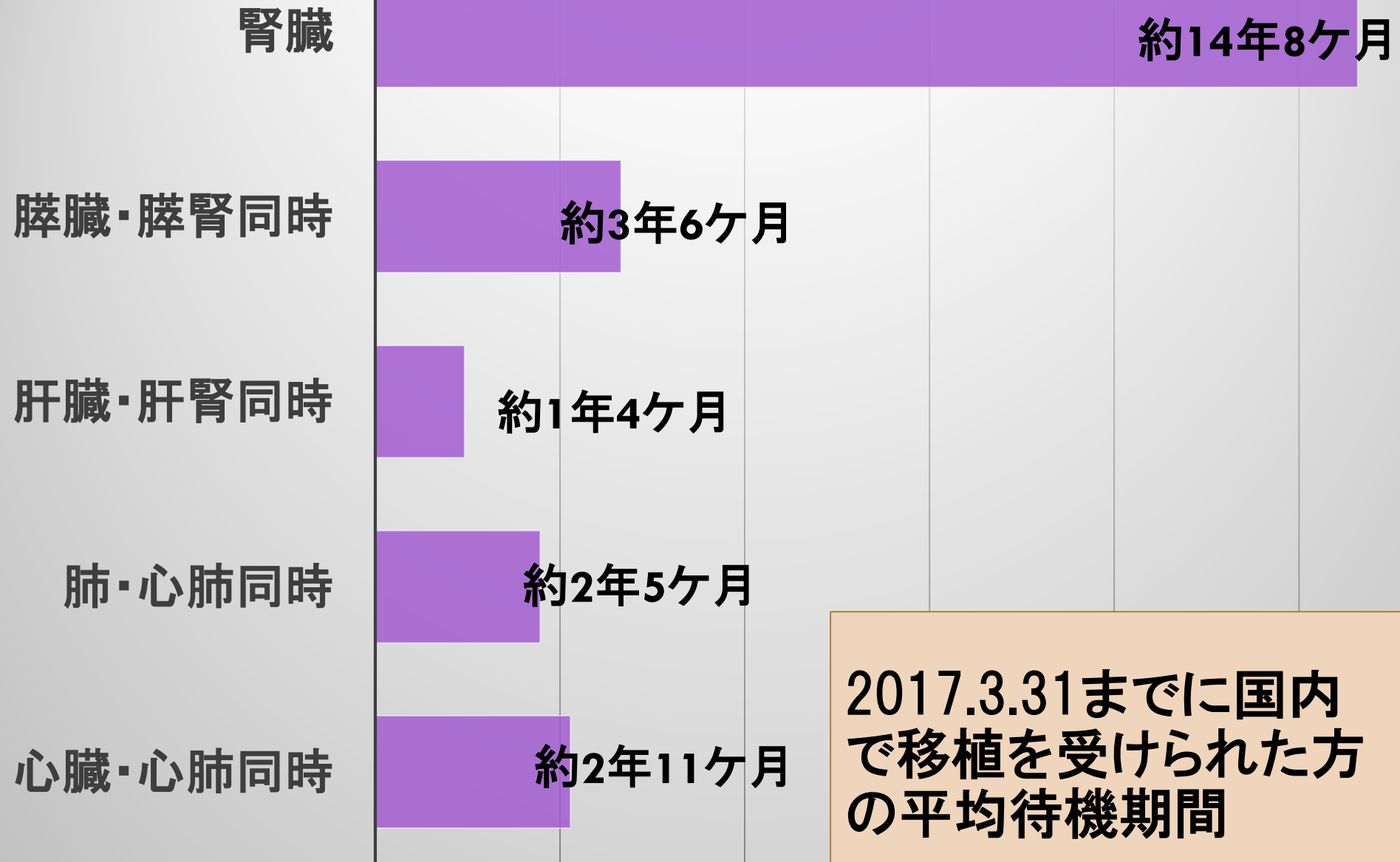


(件)

臓器提供件数の年次推移



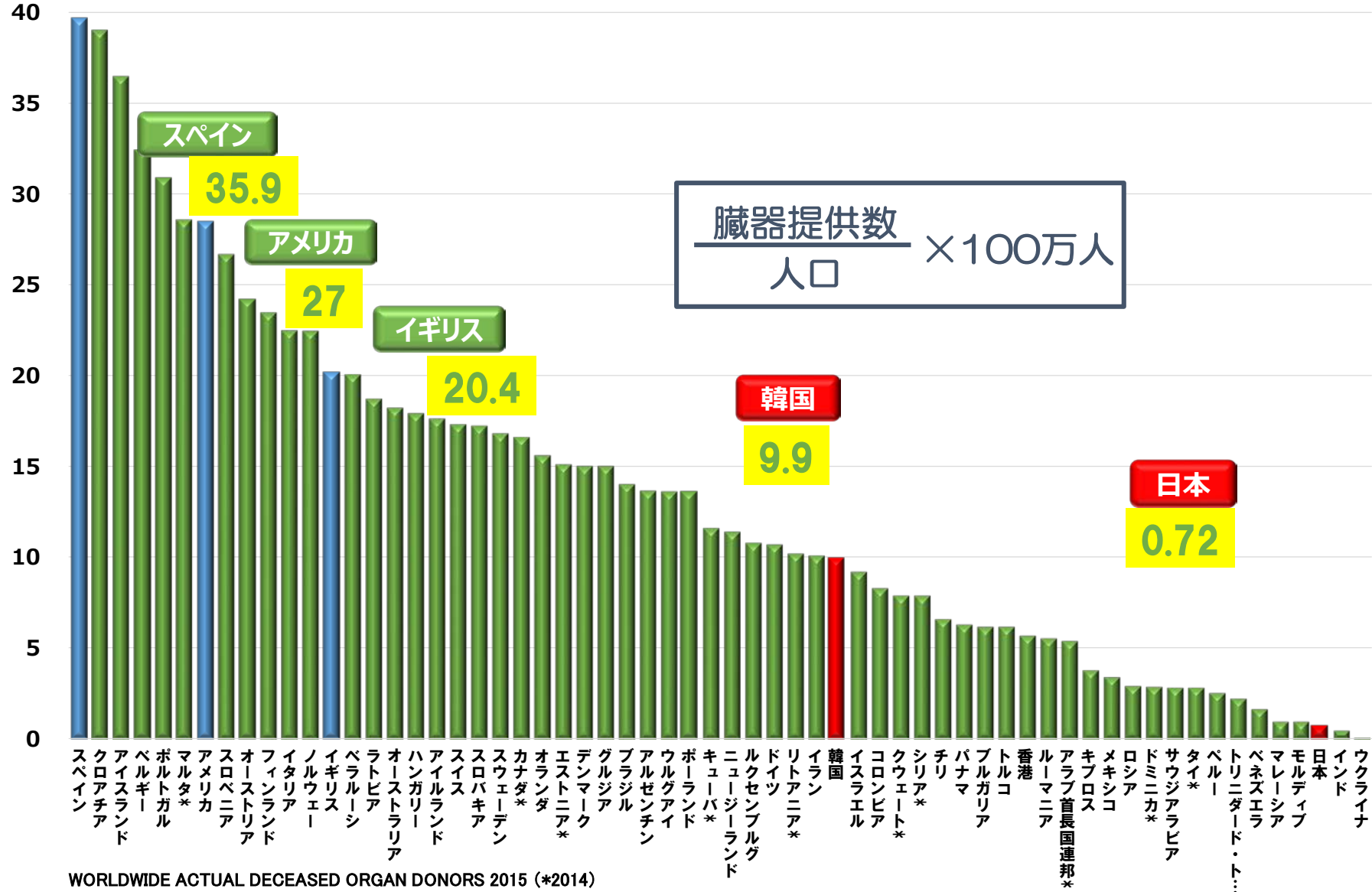
*1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4~12月



2017.3.31までに国内
で移植を受けられた方
の平均待機期間

世界の臓器提供数

(人口100万人当たりドナー数)

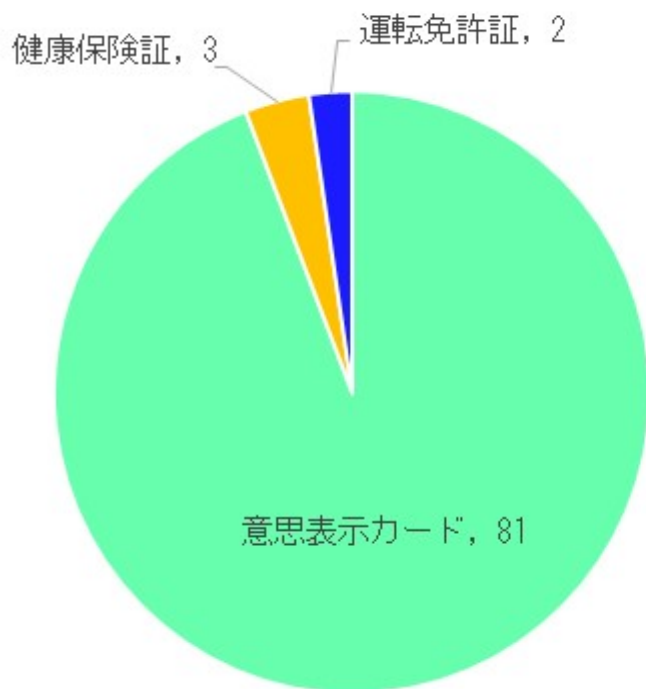




脳死下臓器提供者の本人の意思表示 (改正臓器移植法施行前後の比較) (1997年10月16日～2019年4月30日、提供599件)

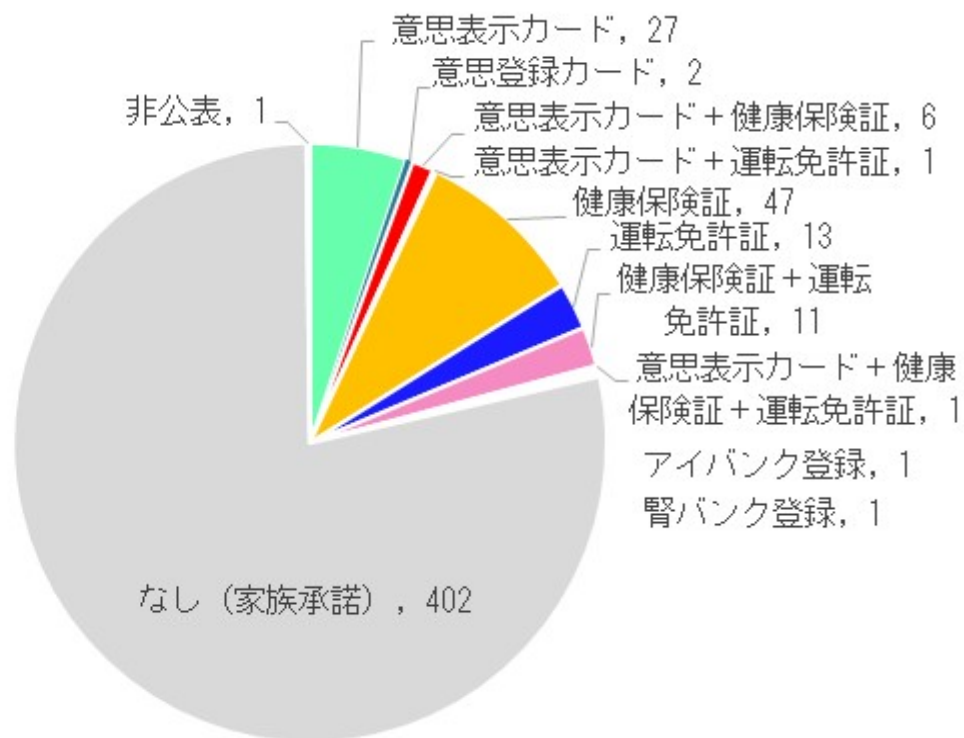
【改正法施行前】

(1997年10月16日～2010年7月16日 86件)



【改正法施行後】

(2010年7月17日～2019年4月30日 513件)



臓器移植コーディネーター

- 移植コーディネーターは、移植医療において提供者（ドナー）と移植者（レシピエント）を調整する仕事
- ドナーコーディネーターは主として「公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク」に所属する人と、日本臓器移植ネットワークから委嘱を受けた「都道府県コーディネーター」が存在する
- レシピエントコーディネーターは医療資格を有しており、移植を受ける患者さんやその家族の間に立って、両者の支援を行う

現場での経験から

- 臓器移植医療について考える
 - 臓器移植医療を受けるということ
 - 臓器を提供するということ

➤ 臓器移植コーディネーターとしての態度


- 誰のために？
- 何に対して喜びを感じるのか？ やりがいって？
- 臓器提供をするということは、治療の中止を示すことに。。。
- 医療者としての思い、倫理的に問題はないのか？
- 「なぜ提供につながらなかったの？」という問い
- 人間の意思は変わるもの

➤ドナー家族の思いを知る

- ・何も知らなかった家族、その時。。。
- ・医師に勧められた、コーディネーターに勧められた、
病院に勧められた。。。
- ・残された家族として
- ・家族の総意



➤ レシピエントとして生きるということ

- 提供を受けて、元気になった姿を見てほしい
 - 善意で元気になったのだから、大人しくしていたらどお？
 - 臓器移植を繰り返さなければならない状況
- 

➤ 私自身が感じたこと

- ・コーディネーターとして覚えた違和感
- ・治療は中止されるのか？
- ・誰かが亡くなったことによって、誰かが助かるという現実
- ・コーディネーターに対する心のケアは？

私も助けてほしい、弱音を吐きたい

- ・社会として臓器移植医療をどう考えていくか
- ・最終的には個人が決める、そのために自分の感性を

高めることは重要

* 図表については、公益社団法人日本臓器移植ネットワークのホームページより引用しました(2019.9.8)